

コロナ禍で変化する飲料業界 キリンvsコカ・コーラ「紅茶飲料戦争」に見る時代のニーズの変化

財界

ZAikai
a Japanese business biweekly

夏季特大号
2022 7/6

システム障害からの出直し
デジタル、海外をどう進めるか——
みずほ銀行頭取
加藤勝彦の「現場論」

経済波乱の中、スタートアップをどう育てるか——
証券市場改革
日本取引所グループ・CEO・清田 暲
「日本企業の稼ぐ力をもっと！」



◎インタビュー
川崎汽船社長
明珍 幸一
創志学園理事長
大橋 博
拓殖大学国際学部教授
佐藤 丙午

取締役人
日本取引所グループ
CEO
清田 暲
編集 野田 雄

◎医療の生産性向上へ

それは希望の方向ではないか、むしろ病院が患者様の役に立つことが今後の医療の要である。そのためには、AIやロボットなどの導入が必要だ。また、医師の働き方改革も重要な課題だ。医療の生産性向上は、患者の利益と医師の利益の両方を満たすことが求められる。

◎医療の生産性向上へ



医療現場の生産性向上は、AIやロボットなどの導入によって実現できる。しかし、それだけでなく、医師の働き方改革も重要な課題だ。医療の生産性向上は、患者の利益と医師の利益の両方を満たすことが求められる。

2020年には当時の大手ファーマーが、全国の医療機関に、AIやロボットなどの導入を支援した。これは、医療の生産性向上に向けた重要な取り組みだ。

が、コロナ禍で医療用ロボットの出動が高まった。病院、流通、物流、製造、建設など、さまざまな分野で、医療用ロボットの出動が高まった。これは、医療の生産性向上に向けた重要な取り組みだ。



シーメンスヘルスケアが開発した移動型医療ロボット「メディカル・コネクティ」は、感染対策などに活用されている。

「医療の生産性向上は、AIやロボットなどの導入によって実現できる。しかし、それだけでなく、医師の働き方改革も重要な課題だ。医療の生産性向上は、患者の利益と医師の利益の両方を満たすことが求められる。」

「CTやMRIの画像のシステム構築・運用から「出向く医療」の提案など新事業創出へ
地域のみなさんに「出向く医療」を届けていきたい」
「医療においては最も大事なことは「待つ」ではなく「出向く」こと。出向く医療とは、患者の病状や検査結果を基に、医師が患者の自宅や病室に赴き、診断や治療を行うことです。これは、医療の生産性向上に向けた重要な取り組みです。」

イメージワン社長
島岡 潤
Shimaoka Jun